

一 般 公 表 用

福祉サービス第三者評価 評価結果

にじいる保育園サクセス金沢文庫

横浜市金沢区釜利谷東 2-18-22

運営主体：株式会社サクセスアカデミー

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～4 ページ
評価領域ごとの特記事項	5～6 ページ
分類別評価結果	7～18 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	19～26 ページ
利用者本人調査分析	27～28 ページ
事業者コメント	29 ページ

2008 年 3 月 21 日公表

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	にじいろ保育園サクセス金沢文庫	
報告書作成日	2008年3月14日	評価に要した期間 9ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま	

評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間:07年5月31日 ~07年12月14日</p>	<p>本部で行われた「第三者評価研究会」（全5回）に担当係が参加した。</p> <p>それを園に持ち帰り、職員会議で全職員に趣旨を説明した。期限を決め、各自が時間を決め、記入を行った。</p> <p>その後勉強会を重ねた後、再度自己評価の記入をした。各個人が記入したものをもとに、クラスごとに会議を開き、意見を出し合いながら1項目ずつ検討をした。</p> <p>その全クラス分を持ち寄り、係で集計をし、まとめた。その集計結果をもとに、園長・主任・係が話し合いを持ち、1項目ずつまとめていった。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間:07年11月5日 ~07年11月19日</p>	<p>全園児の保護者（53家族）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡して配布した。</p> <p>各保護者より、返信用封筒で、評価機関に宛てて無記名で返送してもらった。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日:第1日 08年1月22日 第2日 08年1月24日</p>	<p>[第1日]</p> <p>午前：各クラスで保育観察。朝のミーティングの様子も観察。 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：書類調査および園長・主任に面接調査。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前：朝は登園の様子やミーティングの様子等を観察。その後、各クラスで保育観察。 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：各クラス担任保育士6名、非常勤職員1名、看護師、栄養士、主任の計10名に個別に面接調査。その後、園長・主任・本部の事業部長に面接調査。最後に意見交換を行い、終了。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日:第1日 08年1月22日 第2日 08年1月24日</p>	<p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施。園外での活動にも同行した。</p> <p>聞き取り調査は、年長の園児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜実施した。</p>

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

「にじいる保育園サクセス金沢文庫」は、京浜急行線「金沢文庫」駅から徒歩5分ほどの閑静な住宅地の中に位置し、施設は居住用マンションの1階全フロアーになります。施設の横には園庭を備えていて、向かいに釜利谷東小学校、付近には公園が多数ある恵まれた立地条件となります。

当保育園は、2006年(平成18年)4月1日に60人定員で開園した新しい保育園です。平日は午前7時から午後8時、土曜日は午前7時から午後6時まで開園しています。(延長保育時間含む)

運営法人は、株式会社サクセスアカデミーです。法人では、保育園や学童クラブの運営のほか、病院や企業内・学内の保育施設の受託運営・在宅保育(ベビーシッターサービス)などを、神奈川県・東京都を中心に全国展開しています。また、現在保育園は9園運営していて、今後も新設の予定があります。

保育理念は「みんなが輝く 社会のために」と前書きし、「陽だまりのような温かい保育園」・「地域とともに育つ保育園」・「子どもとともに輝いていける保育園」としています。理念に基づき、みとめ愛(信頼)・みつめ愛(安定)・ひびき愛(共感)をキャッチフレーズとして、自然を愛し、心身ともに健康な子ども意欲と根気のある子ども 「仲間」と関わり、人を思いやれる子ども 自己を表現できる子ども 想像し、考えて行動できる子ども 基本的な習慣や態度を身につけた子ども の6つを保育目標として掲げています。

高く評価できる点

1、子どもたちは自由な発想のもと、のびのびと健康的な生活を送っています

保育士は、子どもたちの「笑顔」や「自由な発想」を大切にされた保育を行っています。例えば、園庭での自由遊びのときに、子ども自身の発案でど自慢大会をしたり、散歩中の公園で、追いかっこを子どもたちの気が済むまで繰り返し行ったりします。子どもたちは、保育士がいつでも優しく公平に接してくれるので、安心して過ごすことができ、のびのびと健康的な生活を送っています。

幼児クラスで行われる週1回のリズム遊びは、スキップ・ぞうきんがけなどいろいろなプログラムを通して、無理なく全身を動かせるような活動となっています。また月2回の造形活動では、子どもたちは作品を完成させる過程で自由な表現を楽しみ、さらに完成品を展示してもらうことによって、達成感を味わうことができる活動となっています。

クッキング(よもぎ団子・ちらし寿司・焼きそば・スイートポテト・ミカンジュース・クッキー等を作ったり餅つきをしたりする)では、栄養士の指導のもと、様々な料理体験を通して食への関心を育みます。さらに、課外活動として行われる潮干狩り・芋ほり・みかん狩り・子ども科学館訪問等では、園内ではできない体験を通して社会的なルールを身につけていきます。

子どもたちはさまざまな体験を通して、思いやり・やる気・自由な発想・自主性・積極性を体現しています。

2、園長を中心とした良好な職員間のコミュニケーション・意識統一が実現されています

保育理念・目標の実現に向け、園長を中心とした園内コミュニケーションや情報共有・意識統一に力を入れています。園内で定期的に行っている職員会議・リーダー会議・給食会議・パート会議・クラスミーティング・乳幼児ミーティングをはじめとして、必要に応じて開催されるケース会議や日々の確認事項を報告し合う朝礼まで、様々なコミュニケーションの場を定期的・継続的に設けています。これらの会議

では、保育現場での小さな出来事から重点課題まで、職員全体で話し合う場にもなっているため、園内で改善できる事項はすぐに改善され、法人として対応する問題の場合は、園長が責任を持って本部に報告・検討し、結果を職員全員に連絡しています。

これにより園内には、より良い保育をするために、職員全員が積極的に意見を提案し、かつそれを十分尊重し、やる気の起こる職場を作る土壌が形成されつつあります。また、園の保育目標を全職員が理解し、目標の実現に向けた日々の保育にも活かされています。

また、法人主催により系列9保育園の園長会・主任会・看護師会・栄養士会が定期的開催され、それぞれの会議で、意見・情報交換が行われており、保育内容や他施設・業界の情報など、さまざまな報告・連絡・検討・改善ができる仕組みが確立されています。

3、充実した「保育ガイド(マニュアル)」を整備し、研修にも力を入れています

法人として、多数の企業・病院内保育施設を運営してきた経験から、今までに蓄積したノウハウ・スキルをもとに、充実した「保育ガイド(マニュアル)」を整備しています。

この「保育ガイド(マニュアル)」では、「保育士の責務と倫理」「子どもの人権を守るために」「差別用語は使わない」「望ましい保育士としての資質や態度」「身だしなみ」など、保育理念・目標を実現するための日々の保育に必要なルールを、詳細に分かりやすく示しています。このガイドは、園に関わる全職員に配布し、より良い保育を実現するために、全職員参加のもと適宜見直しを行っています。

また、法人主催で「スキルアップ研修」や「現任研修」を開催し、常勤・非常勤職員とも積極的かつ主体的に参画しています。さらに、毎年園内研修のテーマを検討し、昨年(2006年)のテーマである「リズム遊び」では、園内研修発表としてレポートにまとめ、早速、本年の保育で実施しています。

なお、法人内ではさらなる研修の充実を計っていく予定です。

4、開園2年目にもかかわらず、地域支援に積極的に取り組んでいます

園長・主任を中心に、職員会議等で地域の子育てニーズについて話し合っています。保育士は、保育中(散歩中)においても、行事のチラシを地域の親子に配布し、公園では地域の親子連れにも一緒に絵本の読み聞かせを行うなど、地域支援への取り組みを積極的に行っています。

また、園で地域住民に向けた「親子ふれあい広場」を企画したり、流しそうめんやにじいろ祭りなどの行事を数多く展開したりしています。園や町内会の掲示板による告知、保護者間の口コミなどの成果もあり、開園2年目にもかかわらず徐々に地域に浸透し、大勢の親子連れが参加するまでになっています。ここでは、親子連れだけでなく一般の人も参加し、地域交流が図られています。

園は、近隣の保育園や地域に、声かけなどの積極的なアプローチを行うことを常に心がけ、実践しています。

さらに期待される点

法人としての事業運営と保育現場の方向性について、さらなる一体化を

当園の事業運営母体である法人では、企業活動は「世のため、人のためにあること」、保育事業は「相手の立場になって考え行動すること」を企業理念に掲げ、病院内・企業内保育施設の運営受託のみならず、平成16年4月より直営保育園の運営事業を開始し、事業を展開してきました。この企業理念の実現に向け、来年度においても保育園を新規に設立し、さらなる飛躍を目指しています。

また、保育園の現場では、保育理念や目標を職員全員が理解し、より良い保育の実現に向けて園内研修を行ったり、保育ガイド(マニュアル)を日々改善・検討したりしながら、保育を実践しています。

今後も、保育園の新規設立に伴い、法人理念や保育目標を実践するために必要な保育人員の急激な増加が見込まれます。法人本部の業務展望と現場職員の実現したい保育内容(キャリアビジョン)をより一体化するために、法人・個人双方の中長期的展望を話し合うことがより重要となります。現場職員一人ひとりの実現したい保育を法人本部がしっかりと受け止め、また法人本部の事業展望を各職員が十分に理解していくという体制を確立していき、現在行われている「法人主導の人材研修」をさらに充実することによって「より強固な組織作り」を期待します。

1、人権の尊重

- ◇ 保育理念は「みんなが輝く 社会のために」と前書きし、「陽だまりのような温かい保育園」・「地域とともに育つ保育園」・「子どもとともに輝いていける保育園」としています。保育目標は「みとめ愛(信頼)」・「みつめ愛(安定)」・「ひびき愛(共感)」のキャッチフレーズに基づき、具体的には詳細に6項目を掲げ、すべての項目が利用者本人を尊重したものとなっています。
- ◇ 園では、個人情報に関する書類を施錠できる書庫に保管しています。また、守秘義務や個人情報の取り扱いに関するマニュアルを備え、研修や職員会議を通して全職員に周知しています。
- ◇ 職員は、虐待の定義について研修等で学び、理解しています。子どもの登園後は、視診や観察を丁寧に行い、関係機関とは連携の取れる体制になっています。

2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ◇ 清掃はマニュアルに沿って行い、保育士一人ひとりが、常に施設内が清潔に保たれるように意識しています。また、各保育室では、子どもの要望や状態に合わせて活動ができるように、敷物・仕切りなどを利用して小さな空間を提供し、居心地のよい場を演出しています。
- ◇ 保育士は、リズム遊びや劇遊びを通して子どもたちが自由に発想し、考えたことを引き出し、さらに発展できるように助言して、子どもたちが満足感を持って活動に取り組めるように支援しています。
- ◇ 散歩や、園庭、公園での戸外遊びを積極的に取り入れ、リレー、縄跳び、かけっこ、ボール遊び等、積極的な健康増進を図っています。
- ◇ 食育では、栄養士が中心となり保育士も協力して年間食育計画を作成し、0歳児から5歳児まで、発達に即して、子どもたちの関心を高める工夫をしています。栄養士は、3・4・5歳児の給食時に、手作りの色別栄養一覧表を用い、日々の給食の内容についてクイズ形式で話をしたり、クッキング体験を通して食への関心を育んだりしています。
- ◇ 子どもたちは、地域の人と、散歩等であいさつを交わしたり、商店街での買い物をしたりすることを通じて交流しています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 保育計画は保育目標に沿って、職員会議や各クラスミーティング等で、全職員が参加のもと、作成・見直しを行っています。また、期のまとめとして保育計画の反省についても、同様に全職員が参加のもと行っています。
- ◇ 週1回クラスミーティングで、子ども一人ひとりの発達の状況や日常の様子を話し合い、指導計画の作成・評価・見直しに反映しています。計画の作成は、週1回のクラスミーティング・月2回の職員会議や月1回のリーダー会議などで、複数の職員が参画しています。
- ◇ 苦情解決マニュアルを備えて、第三者委員だけでなく法人本部にも苦情受付窓口を用意しています。また、保護者からの要望や苦情については、職員会議で「原因」・「対応内容」・「再発防止のために」と段階を踏まえて話し合い、検討・共有しています。改善できるところはマニュアルとともにすぐに改善しています。
- ◇ 健康管理に関するマニュアルや安全管理マニュアルがあり、健康管理面では看護師が中心となって子どもたちの健康管理を行い、安全管理面では、職員が安全点検チェック表で毎週保育室の内外を点検し、安全に留意しています。そのほかにも、事故対応マニュアルを備えていて、子どものケガは些細なことでも必ず保護者へ報告しています。事故報告書やヒヤリハットに記入し、職員会議でも再発防止策を話し合い、情報を共有しています。

4、地域との交流・連携

- ◇ 園では、町内会の掲示板に保育園の行事のチラシを掲示して、地域の人に行事への参加を案内しています。また常時、園庭を開放し、訪れた地域の親子連れとの会話や、散歩先の公園での親子連れからの相談事を通して、地域子育て支援ニーズを把握するように努めています。
- ◇ 地域の人からの要望に応じて、保育室を提供したり、子育てサークルの懇親会に、場所を貸し出ししたりしています。
- ◇ 園長は、児童相談所や区サービス課、療育センターと必要に応じていつでも連携がとれるような体制作りに努めています。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 入社時の法人主催研修において、職員が守るべき法・規範・倫理等を説明しています。また、全職員に配布している「保育ガイド(マニュアル)」には、「保育士の責務と倫理」という項目から、「子どもの人権を守るために」・「差別用語は使わない」・「望ましい保育士としての資質や態度」・「身だしなみ」などの項目まで、詳細にルール化しています。
- ◇ 保育理念・保育目標は明文化し、玄関・各保育室・休憩室などに掲示するとともに、職員会議の場や「保育ガイド(マニュアル)」の配布により周知徹底し、全職員が理解しています。
- ◇ 運営面での重要課題(保育指針の改定・保育内容の改善・法人の財務状況や職員体制及び職員の労働条件など)については、法人主催の園長会議で報告・検討した後、各園長が職員会議を通じて納得できるような説明を行い、全体の取り組みとしています。

6、職員の資質向上の促進

- ◇ 全職員が保育理念・目標を理解していて、職員会議等で定期的に確認し合っています。保育士の人材育成は、「保育理念」・「子どもとの関わり」・「環境整備・環境構成」など26項目からなるスキルアップシートを活用・役立てています。また、「作り上げたい園のイメージ」を基礎とし、「求める保育士像」・「身につけさせたい資質」などを職員一人ひとりに明文化し、人材育成計画を策定しています。
- ◇ 職員会議やリーダー会議で、保育内容や保育技術についての確認や反省を行っています。また、外部研修や他施設から得たサービス事例を職員間で検討し、必要に応じて実践しています。
- ◇ 実習生受け入れマニュアルがあります。実習生は主任が担当し、オリエンテーションで保育方針等の説明をし、実習プログラムにのっとって効果的な実習が行えるようになっています。

分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。








「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。


3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。


評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育理念は「みんなが輝く 社会のために」と前書きし、「陽だまりのような温かい保育園」・「地域とともに育つ保育園」・「子どもとともに輝いていける保育園」としています。保育目標は「みとめ愛(信頼)」・「みつめ愛(安定)」・「ひびき愛(共感)」のキャッチフレーズに基づき、具体的には詳細に6項目を掲げ、玄関・各保育室・休憩室・職員用トイレなどに掲示するとともに、職員会議の場や「保育ガイド(マニュアル)」の配布により周知徹底し、全職員が理解しています。 ・ 保育計画は保育目標に沿って、職員会議や各クラスミーティング等で、全職員が参加のもと、作成・見直しを行っています。また、期のまとめとして保育計画の反省についても、同様に全職員が参加のもと行っています。 ・ 保育士は子どものやりたい気持ちや自由な発想を大切にしよう心がけ、子どもたちの意見を聞いて散歩の行き先を決めたり、遊びたいという気持ちを尊重して保育活動を延長したりするなど、子どもの意思をできるだけくみ取っています。指導計画は、「子どもの姿(生活・遊び)」・「環境」・「保育士の関わり」・「援助と配慮」などの項目により、型にはめた保育にならないよう、子ども一人ひとりを尊重し作成しています。
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入園までの成育歴等は、面接の段階で調査用紙を配布・提出してもらい、子ども一人ひとりの様子を把握しています。面接チェック表には、「保育士面接」・「園医検診」・「アレルギー」などの項目があり、子どもの情報を詳細に記録し、保育計画に反映できるように記録しています。 ・ 0、1歳児の新入園児については年度当初は職員の配置を手厚くし、できるだけ同じ子どもは同じ保育士が担当するようにしています。また、子どもの様子は連絡ノートに丁寧に記録していて、ノートで伝えきれない出来事を伝えるために、園では送迎時の日常的な会話も大切にしています。 ・ 週1回のクラスミーティングで、子ども一人ひとりの発達の状況や

	<p>日常の様子を話し合い、指導計画の作成・評価・見直しに反映しています。計画の作成は、週1回のクラスミーティングや月2回の職員会議、月1回のリーダー会議などで、複数の職員が参画しています。</p>
<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃はマニュアルに沿って行い、保育士一人ひとりが、常に施設内が清潔に保たれるように意識しています。特に調乳室、幼児・乳児トイレは「掃除チェック表」で、午前・午後にそれぞれチェックを行い、清潔に保つように心がけています。 ・沐浴・温水シャワー設備があります。皮膚を清潔に保つため、子どもの体調と保護者の意向を踏まえながら、夏場はシャワーを毎日使用するようにしています。 ・各保育室では、子どもの要望や状態に合わせて活動ができるように、敷物・仕切りなどを利用して小さな空間を提供し、居心地のよい場を演出しています。また、保育室内では、昼食後午睡までの時間に遊ぶ場を仕切りで区切るなど工夫しながら、食べる・寝る・遊ぶなどの機能別空間を確保しています。
<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の状況変化が著しい時期である0、1歳児や特別な課題がある幼児に対して、複数の職員が参加する週1回のクラスミーティングなどで話し合い、個別指導計画を作成しています。計画の変更・見直しは、子どもの発達状況に合わせて、都度赤インクで修正しながら、柔軟に行っています。 ・子どもや家庭に関する基本的な情報は、入園時に提出される児童調査表で把握し、園児一人ひとりの発達状況は、毎月児童表に記録・管理しています。また、週1回の週案会議や月2回の職員会議で、子どもの様子や発達経過の情報を共有しています。さらに、個人面談・育児相談記録については、所定の用紙に記録・保管し、職員が時期・内容などをいつでも確認できる仕組みとなっています。 ・担任は子ども一人ひとりの写真付アルバムを作成し、成長過程の記録として、卒園時に保護者に贈呈しています。
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人として、園長・主任・栄養士・看護師の会議が毎月開催されていて、特に配慮を要する子どもへの対応に必要なノウハウや情報などの意見交換ができる仕組みを確立しています。また、園では障がい児・アレルギーのある子どもや外国籍の子ども等に対して適切な保育を行うため、必要な知識・情報については、園外研修などで積極的に情報収集をしています。研修の内容は、研修報告書に記載後、職員会議で報告し、日々の保育に活かしています。 ・室内はバリアフリー構造で、車いすを使用する障がい児にも対応できるように、玄関から保育室へ続くスロープを備えています。障がい児保育についての専門的なアドバイスについては、園医、南部地域療育センター、法人から派遣される臨床心理士などと連絡を取り、情報交換・報告を行いながら指導方法の検討ができる体制を整えています。 ・アレルギー疾患についての必要な知識や情報は、看護師を中心に学習会を行い、職員間の情報共有を徹底しています。また、必要な場

	<p>合は園医に相談し、助言を受けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者が外国籍の子どもに対しては、文化や生活習慣の違いを尊重し、柔軟な対応をする姿勢があります。保育士は、連絡ノートをひらがなで記入したり、なるべく分かりやすい言葉で説明したりするなど、コミュニケーションを図る工夫をしています。 <p style="text-align: right;">当評価機関では、「障害」を「障がい」と表記します。</p>
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苦情（相談事）受付責任者を主任、解決責任者を園長とし、苦情解決システムを分かりやすくまとめ、事前に保護者にプリントを配布し、説明しています。保護者会で園への要望を聞いたり、保護者懇談会でアンケートを配布したり、玄関にスマイルBOX(意見箱)を設置するなど、保護者が意見や要望を気軽に表明できるための工夫をしています。 ・ 苦情解決マニュアルを備え、第三者委員だけではなく、法人本部にも苦情受付窓口を用意しています。また、保護者からの要望や苦情については、職員会議で「原因」・「対応内容」・「再発防止のために」と段階を踏まえて話し合い、検討・共有しています。改善できるところはマニュアルとともにすぐに改善しています。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの発達段階に応じて、保育室に畳を敷いたり、柵や手作りのパーテーション等でコーナーを作ったり、子どもたちが落ち着いて遊ぶことができるよう室内環境を整えています。 ・ 保育士は、リズム遊びや劇遊びを通して、子どもたちが自由に発想し考えたことを引き出し、さらに発展できるように助言して、子どもたちが満足感を持って活動に取り組めるように支援しています。 ・ 保育士は、子どもたちが自由な遊びの中にもルールを守って、社会性を育むような保育を心がけています。 ・ 稲の栽培や夏野菜・冬野菜の栽培、カブトムシ等の飼育を通して自然に親しむ体験をしています。 ・ 子どもたちは、公園で地域の親子連れと一緒に遊んだり、散歩で出会った人と交流をしたり等を通して地域に親しんでいます。 ・ 幼児クラスは、園外活動として潮干狩りや芋掘り、みかん狩り、子ども科学館等へ出かけたり、ルールを守って電車に乗って系列園まで行ったり（5歳児のみ）という体験をしています。 ・ 「子どもの遊び」について園内研修を行い、保育士は年齢ごとの遊びについて学び、実践しています。 ・ 幼児クラスは、週1回のリズム遊びや月2回の造形活動で、体を思いっきり動かしたり、自由に表現したりするという体験をしています。 ・ 乳児クラスでは、保育士と一緒に季節の歌、わらべ歌、ふれあい遊びを楽しんでいて、2歳児は週1回表現遊びをする等、楽しみながら自由に表現する体験をしています。 ・ けんかでは、保育士はできるだけ子どもたちで解決するように見守っています。自分の気持ちを伝えることがうまくできない場合は、保育士が両者の話をよく聞き、お互いの子どもの気持ちを伝えています。 ・ 散歩や、園庭、公園での戸外遊びを積極的に取り入れ、リレー、縄跳び、かけっこ、ボール遊び等、積極的な健康増進を図っています。 ・ リズム遊びを通して全身を動かしたり、巧技台や平均台で運動感覚を育てたりと健康増進に努めています。

- 1 保育内容[生活]





- ・一人ひとりの子どもの授乳時間等に配慮して、授乳をしています。授乳時は保育士が抱っこをしてやさしく語りかけながら、ゆっくりと授乳をするようにしています。
- ・食育では、栄養士が中心となり保育士も協力して年間食育計画を作成し、0歳児から5歳児まで、発達に即して、子どもたちの関心を高める工夫をしています。栄養士は、3・4・5歳児の給食時に、手作りの色別栄養一覧表を用い、日々の給食の内容についてクイズ形式で話をしたり、クッキング体験を通して食への関心を育んだりしています。乳児も、食育の一環としてトウモロコシやそら豆の皮むきの手伝いをしています。
- ・食材は、地域の業者から仕入れ、食材の安全性に配慮しています。
- ・食器は、割れにくい陶器を使用しています。幼児は箸・スプーン・フォークを自分で選んで使用し、コップは、成長にあった形・大きさのものを使用しています。
- ・食事は楽しい雰囲気では食べられるように心がけ、食欲をそそるよう、彩りにも気をつけて調理をし、さらに季節ごとに行事食を提供しています。
- ・栄養士は、食事中的子どもの様子を毎日見に行き、喫食状況を把握し、献立に反映させています。
- ・献立表や給食便りを作成し、事前に保護者へ配布しています。
- ・試食は、平日の昼間や土曜日の保護者懇談会の後に計5回実施し、給食の味・量・盛り付けなどを保護者に知らせています。試食会後には、アンケートをとり、保護者の感想を聞いて献立に反映させています。
- ・乳児の睡眠中は、10分ごとに睡眠チェック表に記録をとり、SIDSの防止に努めています。
- ・午睡では、室内をカーテン等で暗くして眠りやすい環境を作り、子どもたちが寝付けるように体をさすったり、子守唄を歌ったり等を行っています。また、眠れない子には、無理強いすることなく静かに過ごすように配慮しています。
- ・トイレトレーニングは、一人ひとりに合ったトレーニングを行うようにしています。また、子どもの情緒にも配慮しながら、焦らずに気持ちに余裕を持って行うように保護者ともよく相談し、連携をとって行っています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- ・健康管理に関するマニュアルがあり、看護師が中心となって子どもたちの健康管理を行っています。
- ・0~2歳児までは、毎日の連絡ノートで健康状態を把握しています。また保育士は、登園時にできるだけ保護者と話し、子どもの様子を把握するよう努めています。
- ・毎月保健だよりを発行し、保護者に健康に関する情報を細やかに提供しています。
- ・子どもの洗面所には、手洗い方法の説明が写真や絵入りで紹介され、子どもたちはその絵を見ながら上手に手洗いをしています。
- ・歯磨き指導は、1歳児はうがいの練習から始め、2歳児からは歯ブラ

	<p>シを持って歯磨きをし、保育士が仕上げ磨きを行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児は、歯科健診の折に歯の健康についての話を聞き、赤染めを行う等の歯磨き指導を受けています。 ・ 歯科健診や健康診断の記録があります。健康診断の結果は、その日のうちに保護者へ書面で連絡しています。 ・ 感染症対応マニュアルがあります。感染症の疑いがある場合は、マニュアルにのっとり保護者へ連絡し、受診後は結果の報告を受けています。 ・ 保育中に感染症が発生した場合は、速やかに玄関に掲示し、保護者へ周知しています。 ・ 看護師は感染症等についての最新情報を、園医や本部、系列園、インターネットから得て、素早く対応できるよう心がけています。また、得た情報は速やかに職員に伝え、周知を図っています。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生管理に関するマニュアルがあります。 ・ マニュアルに基づいて清掃をしています。清掃後は清掃チェック表に毎回記録をし、衛生管理に努めています。 ・ 各保育室・トイレ・調乳室には手指消毒液を置き、清潔を心がけています。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理マニュアルを整備し、職員に周知しています。職員は、安全点検チェック表で毎週保育室の内外を点検し、安全に留意しています。 ・ 保育室内の棚は、転倒防止の留め金やチェーン等を付けて固定しています。 ・ 災害時の伝言ダイヤル訓練や、保護者引渡し訓練等を実施しています。 ・ 職員は全員、救急法（心配蘇生法、AED訓練）を受講し、訓練を受けています。 ・ 事故対応マニュアルがあります。子どものケガは些細なことでも必ず保護者へ報告しています。事故報告書やヒヤリハットに記入し、職員会議でも再発防止策を話し合い、情報を共有しています。 ・ ヒヤリハットや事故報告書の内容は、系列園間で情報を共有し、事故防止に努めています。 ・ 不審者対応訓練を定期的に行っています。 ・ 園の出入り口は常に施錠し、玄関はオートロックです。インターホンで確認して開錠しています。また、警備会社と契約して警報機を設置し、すぐに警備会社へ連絡が行くようになっています。 ・ 防犯に関する情報は、速やかに区や市、警察から情報が届くようになっています。

- 3 人権の尊重





- ・ 保育士は、子どもの自主性を重んじ、せかしたり強制したりすることなく、子どもの気持ちや思いに配慮して接するように心がけています。
- ・ 友だちや、保育士の目を気にせずに過ごせるコーナーを作り、子どもが自由に過ごせるよう配慮しています。
- ・ おむつ交換時には、パーテーションで仕切ったり、トイレにはカーテンを取り付けたりして、プライバシーが守られるようにしています。
- ・ 守秘義務や個人情報の取り扱いに関するマニュアルがあり、研修や職員会議を通して全職員に周知しています。
- ・ 子どもの写真の取り扱いは、保護者に画像使用承諾書に記入してもらい、保護者に了解を得てホームページ等に掲載しています。
- ・ 個人情報に関する書類は、施錠できる書庫に保管しています。
- ・ 職員は、虐待の定義について研修等で学び、理解しています。子どもの登園後は、視診や観察を丁寧に行い、関係機関とは連携の取れる体制になっています。
- ・ 遊びや行事の役割、服装等で性別による区別をしたり、順番、グループ分け、整列等でも性別による区別をしたりしていません。

- 4 保護者との交流・連携






- ・ 保育の基本方針は、見えやすいところへ掲示するとともに、懇談会でも説明しています。さらに懇談会で、保育内容についての保護者アンケートを取っています。
- ・ 保護者へは、日々の送迎時の会話のほか、0~2歳児は、毎日連絡帳に記入して子どもの様子を伝え、3、4、5歳児は必要に応じて連絡帳に記入し、保護者と連携を取っています。
- ・ 個人面談は年2回実施し、クラス懇談会は年3回実施しています。面談は希望があれば随時対応もしています。
- ・ 保護者からの相談は丁寧に受けとめ、保育士がその場で答えられないような場合は、園長や主任、クラスリーダーに相談して適切に答えるようにしています。
- ・ 相談内容については守秘義務を厳守し、育児相談ファイルに記録を収め、継続的なフォローができるようにしています。
- ・ 園だより、クラスだよりは、毎月発行しています。
- ・ 子どものその日の様子を知らせる掲示板は、できるだけ丁寧に記入し、保護者へ提示しています。
- ・ 保護者の保育参加は、常時受け入れています。参加後は保護者の感想文を園だよりで紹介し、他の保護者にも参加を呼びかけています。
- ・ 保護者会があり、園長・主任も参加して園の様子や子どもたちの様子を伝え、保護者との交流に努めています。




評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常時、園庭を開放し、訪れた地域の親子連れとの会話や、散歩先の公園で出会った親子連れからの相談事を通して、地域の子育て支援ニーズを把握するように努めています。 ・ 区の幼保小研修会や金沢区園長会に参加し、地域の子育て支援ニーズの把握に努めています。 ・ 近隣の保育園、保育室等との交流を通して、ニーズの把握に努めています。 ・ 地域住民に向けて「親子ふれあい広場」を企画し、大勢の親子連れが参加しています。 ・ 公園では、園児と一緒に地域の親子連れにも、絵本の読み聞かせを行っています。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園の常設掲示板で、地域の人に向けて情報を提供しています。 ・ 育児相談を受け付けていて、園の掲示板で案内しています。また、園児と一緒に園生活を体験する「保育園体験」にも応じています。 ・ 園に定期的に来園する臨床心理士や、園の栄養士、看護師への、地域の人からの相談を受け付けています。臨床心理士の相談日程については掲示板で知らせています。 ・ 児童相談所や区サービス課、療育センターとは、必要に応じていつでも連携がとれるようになっています。担当は園長です。




評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域へ向けて、運動会などの園の行事への参加を呼びかけ、地域の親子が参加しています。 ・ 地域の人からの要望に応じて、保育室を提供したり、子育てサークルの懇親会に、場所を貸し出したりしています。 ・ 子どもたちは、地域の人と、散歩等であいさつを交わしたり、商店街で買い物をしたりすることを通して交流しています。 ・ 高齢者施設のお年寄りを園に招待したり、近隣の幼稚園を訪問して園庭で一緒に遊んだり、近隣の保育園を園の行事に招待したりする等の交流を図っています。
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園のパンフレット、しおり、HP等で園の情報を提供しています。また、NPO 法人が発行する保育園を特集した冊子、金沢区社協の福祉情報冊子に園情報を提供しています。 ・ 園の基本方針や、利用条件等についての問い合わせには、園のしおりで丁寧に説明し、見学もできることを案内しています。 ・ 見学の希望はいつでも受け付けています。見学には主に園長・主任が対応しています。
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア受け入れマニュアルがあり、それに基づいて園の方針や利用者への配慮等を、ボランティアにオリエンテーションで説明しています。 ・ ボランティアの受け入れ担当は主任です。受け入れ時の書類はファイリングをして保管しています。ボランティアには感想文を提出してもらい、その後の保育に反映させています。感想文には全職員が目を通しています。 ・ 中学生の職業体験を受け入れました。また、大学生が手作りのカルタやカレンダーを持って来園し、子どもたちと遊んだことがあります。 ・ 実習生受け入れマニュアルがあります。実習生は主任が担当し、オリエンテーションで保育方針等の説明をし、実習プログラムにのって効果的な実習が行えるような仕組みがありますが、開園2年目ということもあり、まだ受け入れの実績がありません。園では、積極的に受け入れる姿勢もありますので、今後が期待されます。

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員が保育理念・目標を理解していて、職員会議等で定期的に確認し合っています。保育士の人材育成は、「保育理念」・「子どもとの関わり」・「環境整備・環境構成」など 26 項目からなる「スキルアップシート」を活用・役立てています。また、「作り上げたい園のイメージ」を基礎とし、「求める保育士像」・「身につけさせたい資質」などを職員一人ひとりに明文化し、人材育成計画を策定しています。 ・ 主任が研修担当であり、各職員の資質向上に向けた計画作りを行うとともに、各職員の研修ニーズにも配慮しています。また、常勤・非常勤とも職員が積極的かつ主体的に研修に参画しています。 ・ 職員は、入社時に法人主催の新任保育士研修を受け、その後は、法人内での現任研修やスキルアップ研修をはじめ、横浜市こども青少年局の主催による外部研修などにも、積極的に参加しています。 ・ 常勤・非常勤を問わず、基本理念や方針・行動規範・場面ごとの言葉や接し方など、基本方針から日々の業務内容や心構えまでが詳細に記載されている「保育ガイド（マニュアル）」を配布しています。
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員会議やリーダー会議で、保育内容や保育技術についての確認や反省を行っています。また、外部研修や他施設から得たサービス事例を職員間で検討し、必要に応じて実践しています。 ・ 園内研修は、必要に応じて本部や外部からの講師を招き、専門的な指導を受け、日々の保育に役立てています。
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園長・主任・保育士・看護師・栄養士それぞれの役割を明文化しています。また、園長面接の際に、職員の目標設定や反省点など十分な話し合いを行い、職員一人ひとりの経験・能力や習熟度に応じた役割や期待水準も明文化しています。 ・ 園長は保育士との日常的なふれあいを大切に、保育日誌などの記録を読むことにより、保育士の心情や保育内容を把握しています。また、年 2 回の園長面接や年 1 回の職員意向アンケートを行い、意見・要望・満足度を把握しています。

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入社時の法人主催研修において、職員が守るべき法・規範・倫理等を説明しています。また、全職員に配布している「保育ガイド（マニュアル）」には、「保育士の責務と倫理」という項目から、「子どもの人権を守るために」・「差別用語は使わない」・「望ましい保育士としての資質や態度」・「身だしなみ」などの項目まで、詳細にルール化しています。 ・ 事業に関わりある他施設での不正や不適切な事件・事柄については、新聞記事などをファイリングするとともに、職員会議等で情報共有をしています。その中でも重要事案と判断した場合は、緊急会議を開き、自園に置き換えてそれらの行為を行わないよう啓発をしています。 ・ 室内電気の消灯、エアコン温度調整、蛇口の水圧調整、1/2 に切ったペーパータオルの使用など、省エネルギーに向けた取り組みを行っています。また、園庭端の花壇や園内の観葉植物の壁かけ（造花・生花含む）など、緑化の推進にも積極的に取り組んでいます。 ・ 園長が機会をとらえて地球温暖化の話を3・4・5歳児に行うなど、子どもたちに環境に配慮することの大切さを伝えています。 ・ 環境配慮の考え方や取り組みは、明文化されていません。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育理念・保育目標は明文化し、玄関・各保育室・休憩室などに掲示するとともに、職員会議の場や「保育ガイド（マニュアル）」の配布により周知徹底し、全職員が理解しています。 ・ 保護者会や運営委員会（保護者代表・地域の代表・本部・園長で構成）を定期的で開催し、重要な意思決定だけではなく、運動会などの行事に対しても、幅広くかつ継続的に意見交換を行っています。また、系列園の園長・主任・看護師・栄養士それぞれが集まる会議を法人主催で定期的で開催することにより、各施設や保育業界の動向などを横断的に話し合うことができ、重要な課題には組織をあげて取り組む仕組みを確立しています。 ・ 法人主催による主任・リーダー育成会議・研修を定期的に行っていて、スーパーバイズのできる主任クラスの計画的な育成プログラムがあります。
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園長は園長会・幼保小教育事業交流会、専門情報誌や独自のネットワークになどより、様々な保育・経営情報の収集に努めています。また、法人としては専門スタッフが配属され、業界動向・他社動向の情報も収集していて、得られた情報は、短期・長期的な分析に役立てています。 ・ 運営面での重要課題（保育指針の改定・保育内容の改善・法人の財務状況や職員体制及び職員の労働条件など）については、法人主催の園長会議で報告・検討した後、各園長が職員会議を通じて納得できるような説明を行い、全体の取り組みとしています。 ・ 法人として、中長期的な事業計画を策定しています。中期達成目標を掲げ、「市場の現況」・「行政の動向」等を分析・協議し、中長期計

画策定に役立っています。

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2007年11月5日～11月19日
- 2、実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関宛に無記名で返送。
- 3、回収率 60.4%（53枚配付、32枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...8人、1歳児クラス...4人、2歳児クラス...7人、3歳児クラス...6人、
4歳児クラス...6人、5歳児クラス...0人 無回答...1人

ただし同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

設問ごとの特徴

【問1】保育園の基本理念や基本方針について

保育目標や保育方針を「知っている」「まあ知っている」と答えた保護者は約81%です。さらに、知っている
と答えた保護者の全員が賛同できていると思っています。

【問2】入園時の状況について

「保育園での過ごし方についての説明」では、100%の保護者が満足と答えています。また、90%以上の保
護者が、「入園時に子どもの様子や生育暦を聞く対応」や、「費用やきまりについての説明」「園の目標や方
針の説明」についても満足と答えています。「見学の受け入れ」については、“開園前なので、見学ができな
かった”など、「その他」回答が多くなっています。

*数値は「満足」と「どちらかといえば満足」の回答を合計したもの（以下同様）

【問3】年間の計画について

「年間の保育や行事についての説明」や「保育や行事について保護者の要望が活かされているか」につい
ても、90%以上の保護者が満足と答えています。

【問4】日常の保育内容「遊び」「生活」について

「遊び」については、全ての項目で満足度が90%以上と高く、特に「クラスの活動や遊び」「園外活動」「遊
びを通じた友達との関わりや保育士との関係」については、いずれも100%の満足度となっています。

「生活」では、「給食の献立内容」や「給食を楽しんでいるか」「基本的な生活習慣への取組み」については
100%の保護者が満足と答えていて、「昼寝や休憩」「体調への気配り」「ケガについての説明」についても
90%以上の満足度となっています。

【問5】快適さや安全対策などについて

「外部からの不審者侵入に対する備え」「感染症発生の情報提供」「子どもが落ちついて過ごせる雰囲気」
についてはいずれも90%以上の満足度です。

「施設設備」については、「不満」および「どちらかといえば不満」を合計して約22%です。自由記入欄
には“きれいで清潔な室内”、“園庭が狭い”“戸外遊具がない”等が見受けられました。

【問6】園と保護者との連携・交流について

「保護者懇談会や個別面談等の話し合いの機会」「園だよりや掲示物」「行事の開催日や時間帯への配慮」「子
どもの重要な情報についての連絡」「保護者の相談事への対応」「残業等で迎えが遅くなる場合の対応」等、
いずれの項目も90%以上の満足度となっています。

【問7】職員への対応について

「子どもが保育園生活を楽しんでいるか」については100%が満足と答えています。「子どもが大切にされているか」「職員は話しやすい雰囲気・態度か」については、90%以上の満足度です。“園長先生を始め先生方の団結から向上心、活気を感じる”といった声もあります。

【問8】保育園を総合的に評価すると

90%以上の保護者が満足と答えています。

まとめ

利用者家族アンケートの結果から、保護者が満足している様子がよく分かります。園庭が狭いという不満の声もありますが、できるだけ散歩に出かけたり、公園で自由に遊んだりという保育園の努力を、保護者もよく理解しているようです。中には、もう少し担任の保育士から話を聞きたいと思っている保護者もいますが、園だよりや毎日の登降園時における職員との語らいを通して、安心して子どもを預けられると感じています。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

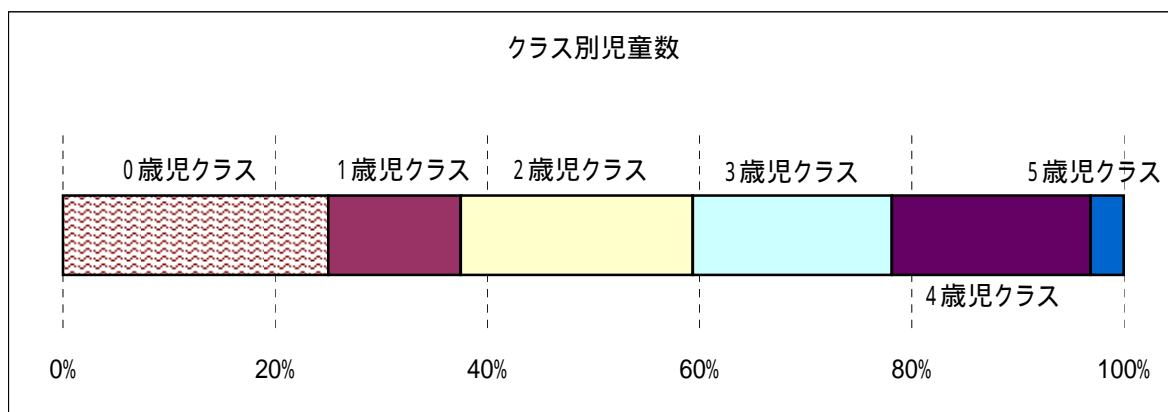
実施期間： 2007年 11月5日～11月19日

回収率： 60.4% （回収32枚 / 配布53枚）

【属性】

クラス別児童数							(人)
合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
32	8	4	7	6	6	0	1

同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入



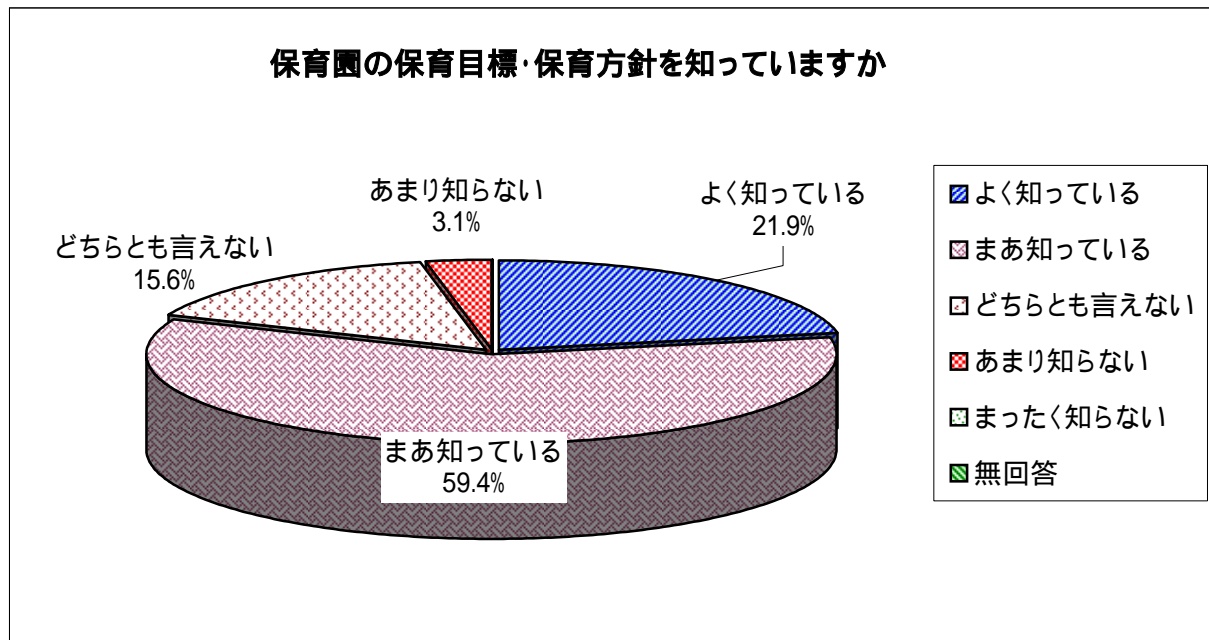
保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	21.9	59.4	15.6	3.1	0.0	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

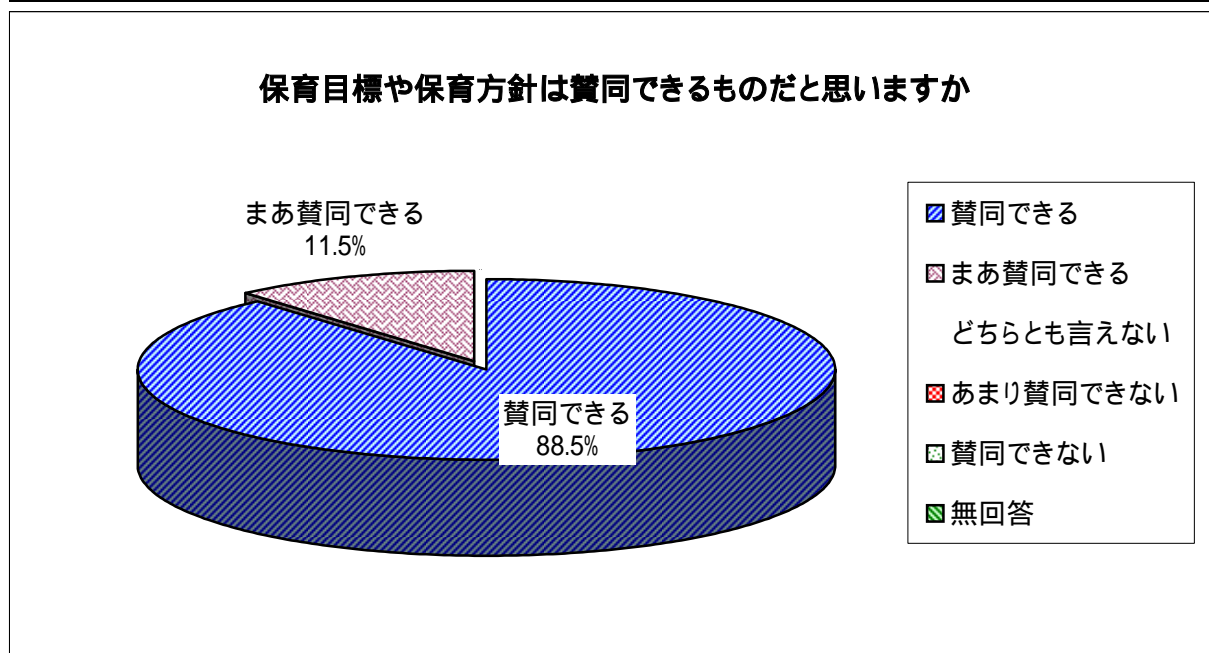


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	88.5	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	100



保育園のサービス内容について

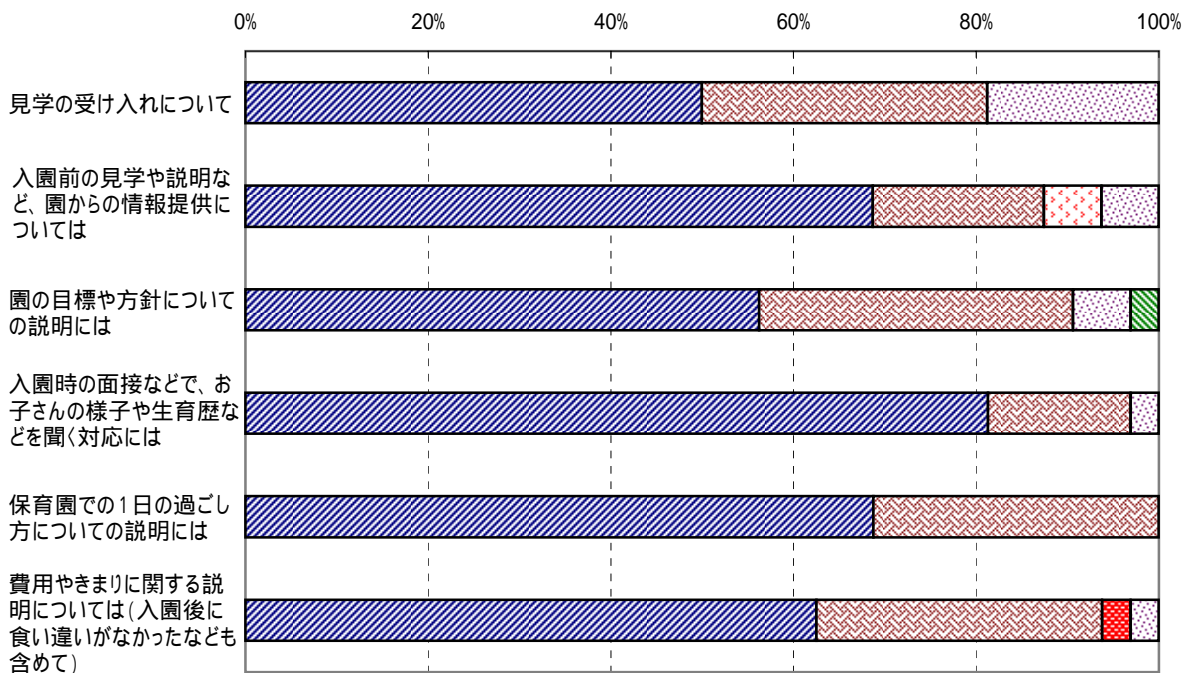
問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	50.0	31.3	0.0	0.0	18.8	0.0	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	68.8	18.8	6.3	0.0	6.3	0.0	100
園の目標や方針についての説明には	56.3	34.4	0.0	0.0	6.3	3.1	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	81.3	15.6	0.0	0.0	3.1	0.0	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	68.8	31.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったなども含めて)	62.5	31.3	0.0	3.1	3.1	0.0	100

入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



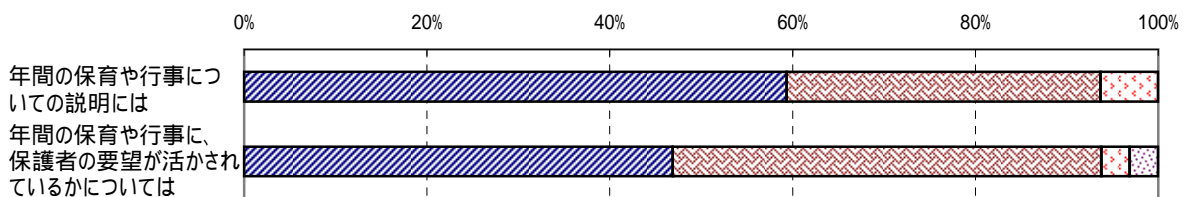
問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	59.4	34.4	6.3	0.0	0.0	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	46.9	46.9	3.1	0.0	3.1	0.0	100

年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



問4 日常の保育内容について

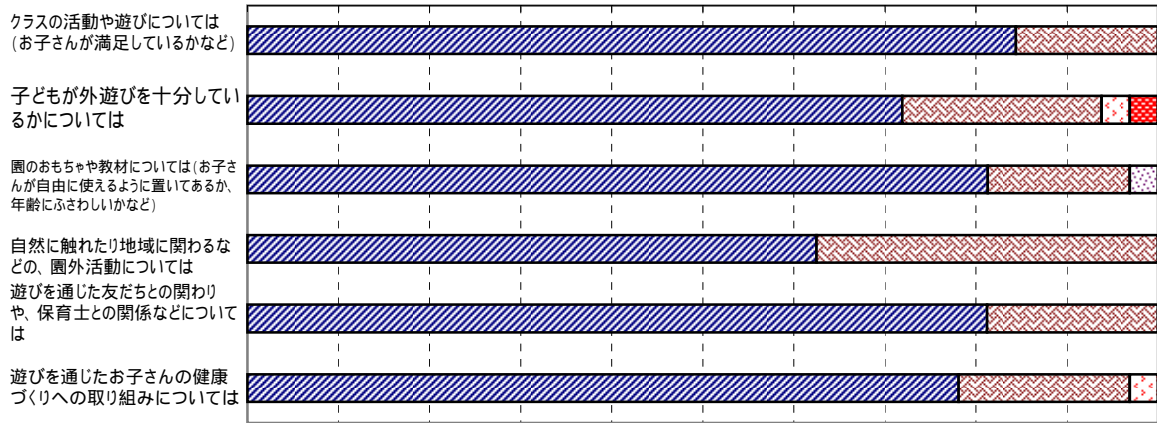
(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	84.4	15.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100
子どもが外遊びを十分しているかについては	71.9	21.9	3.1	3.1	0.0	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	81.3	15.6	0.0	0.0	3.1	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては	81.3	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	78.1	18.8	3.1	0.0	0.0	0.0	100

日常の保育内容「遊び」について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



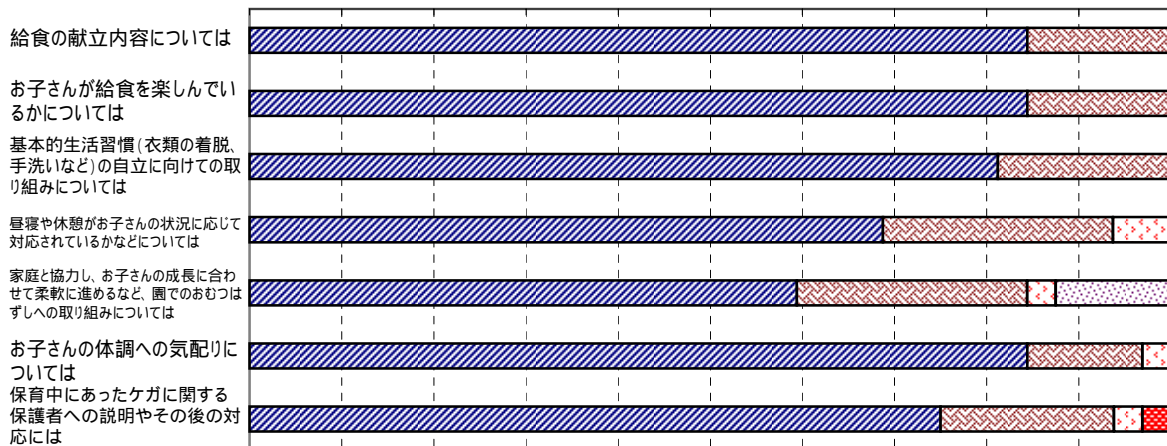
(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	84.4	15.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	84.4	15.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	81.3	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	68.8	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0	100
家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては	59.4	25.0	3.1	0.0	12.5	0.0	100
お子さんの体調への気配りについては	84.4	12.5	3.1	0.0	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	75.0	18.8	3.1	3.1	0.0	0.0	100

日常の保育内容「生活」について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



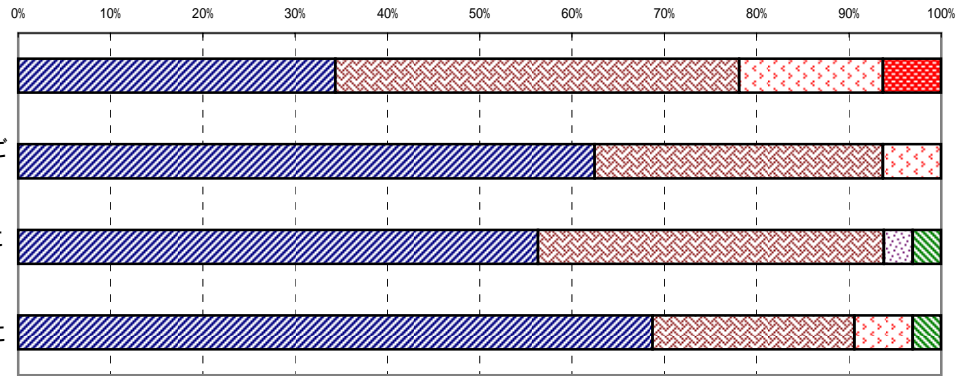
問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	34.4	43.8	15.6	6.3	0.0	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	62.5	31.3	6.3	0.0	0.0	0.0	100
外部からの不審者侵入に対する備えについては	56.3	37.5	0.0	0.0	3.1	3.1	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	68.8	21.9	6.3	0.0	0.0	3.1	100

快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答



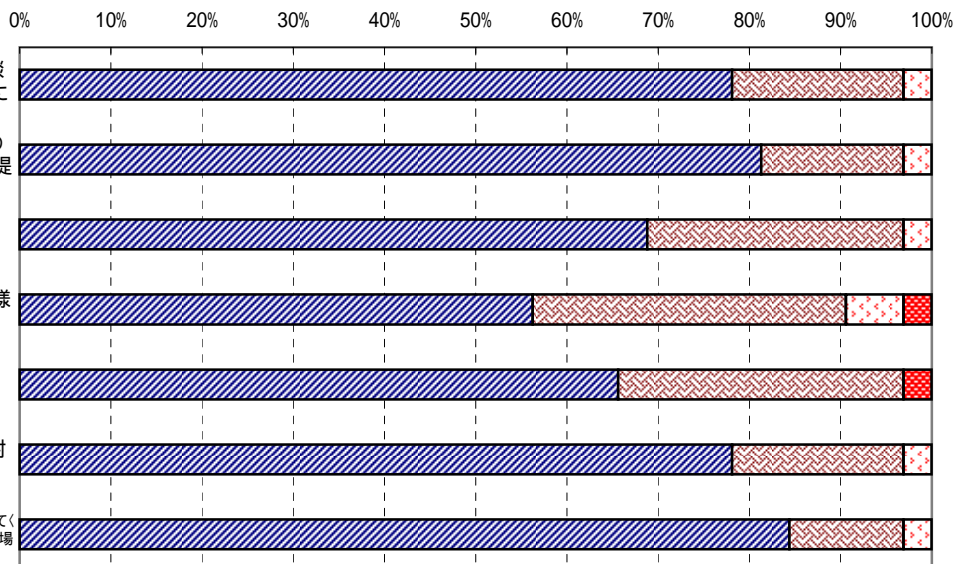
問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	78.1	18.8	3.1	0.0	0.0	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	81.3	15.6	3.1	0.0	0.0	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	68.8	28.1	3.1	0.0	0.0	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	56.3	34.4	6.3	3.1	0.0	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	65.6	31.3	0.0	3.1	0.0	0.0	100
保護者からの相談事への対応には	78.1	18.8	3.1	0.0	0.0	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	84.4	12.5	3.1	0.0	0.0	0.0	100

園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答



問7 職員の対応について

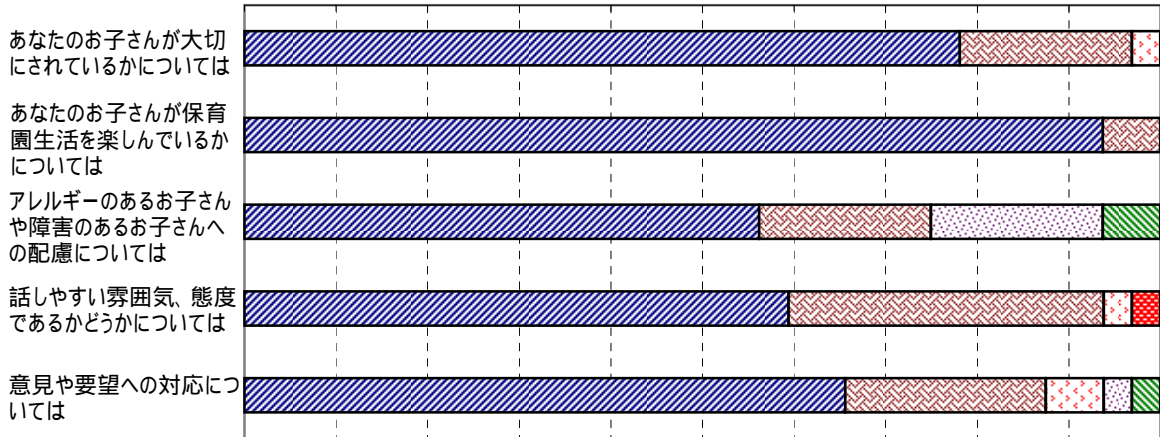
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	78.1	18.8	3.1	0.0	0.0	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	93.8	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	56.3	18.8	0.0	0.0	18.8	6.3	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	59.4	34.4	3.1	3.1	0.0	0.0	100
意見や要望への対応については	65.6	21.9	6.3	0.0	3.1	3.1	100

職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

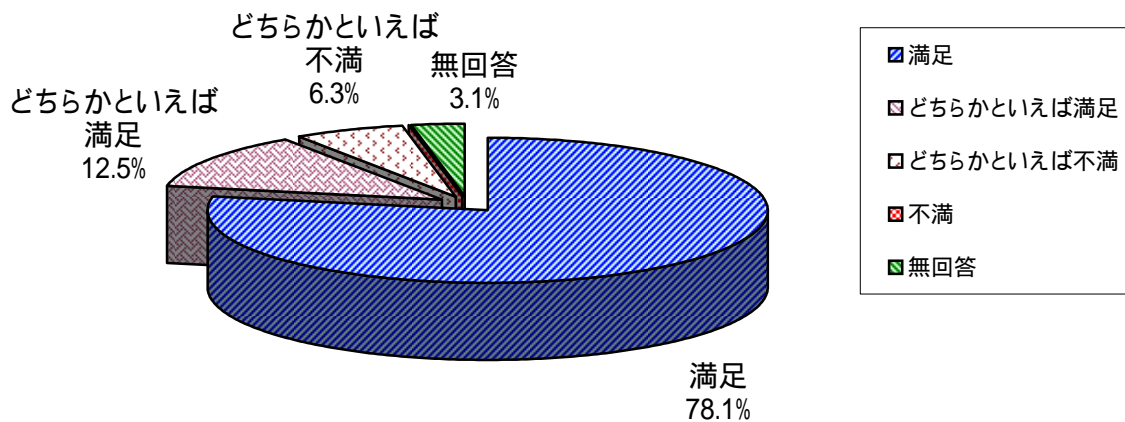


問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	78.1	12.5	6.3	0.0	3.1	100

総合満足度



利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 1月22日（火）9:10～12:30 1月24日（木）8:30～12:20

観察中、年長の園児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

0歳児クラス

登園後熱を測り、おむつを替えてもらって自由に遊びます。ひもの付いた引き車がお気に入り、引いて遊ぶ子が何人もいます。手提げにコップを入れて持ち運んでいる子、保育士のひざに座って絵本を読んでもらう子、保育士手作りの太鼓で遊ぶ子など、みんな自由に好きな遊びを楽しんでいます。朝の会では保育士と一緒に手遊び歌を楽しみ、名前を呼ばれたら手を「ハーイ」と上に挙げて答えます。

散歩はカートに乗っていく子と歩いていく子に分かれ、歩いていく子は保育士に手をつないでもらい、ゆっくり歩きます。公園では砂場で自由に遊びました。数人の子は公園を歩きまわったり、木々の間に入ってみたりと楽しそうです。公園の砂場にきた親子連れとも一緒に遊びました。それから、公園の広場でゲートボールをしている高齢の人たちにあいさつをします。ゲートボールの人たちが帰った後は、広場で追いかけてっこをしました。公園からの帰りには、何人もの子が歩きたいと言って、保育士を困らせる場面がありましたが、「交替にしようね」という保育士の言葉かけでやっとカートに乗っていました。歩くことが大好きなようです。

昼食は、月齢の低い子から食べ始め、保育士がそばに居て話しかけてもらいながら食べています。食事が済むと寝巻きに着替え、保育士から絵本を読んでもらい、眠くなった子から布団に入ります。眠くない子は保育士から絵本を読んでもらったり、人形で遊んだりとしばらく自由に遊んでいます。寝ている子のそばには保育士がいて、やさしくさすったりトントンとしたりしています。

1歳児クラス

登園すると、保育士に抱っこされて熱を測ってもらった後、排泄のタイミングの子は排泄をし、手洗いを済ませ、イスに座って手遊び歌を歌いながらみんながそろそろのを待ちます。ぐずる子がいましたが、保育士と一緒に手遊び歌をして機嫌を直しました。

おやつのは、外遊びの準備をして園庭に行きます。園庭の砂場では、容器に砂を入れたり出したり、シャベルで穴掘りをしたり、砂で型押しをしたりとみんな思い思いに夢中になって遊んでいます。途中、かごやスプーンの取り合いがありましたが、保育士が中に入り子どもの気持ちを聞いて、それぞれに話をしました。片付けの時間になると、使っているシャベルやおもちゃを自分で戻します。砂場にビニールシートをかけ、重石をのせる作業はみんなで行いました。その後、追いかけてっこをしました。園に戻って着替えをした子からトイレに誘導され、トイレから出てくるとシャボンをつけて手を洗います。

3・4・5歳児がリズム遊びをしていると、邪魔にならない程度に近くまで行き、座り込んで熱心に見学していました。

給食は準備のできた子から食べます。食事中、保育士と「ニンジンが入っているでしょ？」「ニンジン入ってる！」などと話しながら食べています。食べ終わると「プクプクペッ」と口をゆすぎます。保育士から絵本を読んでもらい、昼寝になります。

2歳児クラス

登園後、園庭で自由に遊びます。園に戻ると自分で上着を脱ぎ、順番を待って手洗い、うがいをします。その後、子どもたちは全員がそろそろまで「お眠りポーズ」で待ちます。そろってから歌遊びをし、出欠取りです。保育士に呼ばれると元気に返事をし、欠席の子どもがいるとみんなで「欠席です」と言います。おや

つをいただいた後、粘土遊びが始まりました。指輪やへび、団子など、思い思いに作ります。保育士に褒められてうれしそうです。粘土を片付け、手洗いをしてから散歩の準備です。

川沿いの道を歩いていると、カモがいたので、みんなでカモに呼びかけたりしてしばらく見ていました。駅前の商店街では花屋、パン屋、酒屋、ケーキ屋の前を、元気にあいさつをしながら通ります。公園に着くとみんなでかけっこを始めました。何度か追いかけてっこをしてから園に戻りました。うがい、手洗いを済ませ昼食です。配膳された子から食べ始めます。せかされることなく、子どものペースで食事をしています。

3・4・5歳児クラス（異年齢児クラス）

登園後、園庭で自由に遊びます。砂場では、スコップを使って大きな砂山を作ったり、砂団子作りやままごと遊びをしたりしています。かけっこをしたり、ジャンプをしたり、のど自慢ごっこを始めているグループもあります。片付けはこどもたちが率先して行い、園庭をきれいにしました。

園に戻ると手洗い・うがいをし、皆がそろって朝の会が始まります。当番が前に出て「朝の歌を歌います」と言って始まります。全員で数曲、ふりを付けながら歌います。次に当番は出欠を取ります。

リズム遊びでは、動きやすい服装に着替え、ピアノの曲に合わせて体を動かします。数名ずつ並んでぞうきんがけ競争をしたり、大車輪、舟こぎ体操などを思いっきり楽しんだりしました。

散歩では、保育士の注意を守りながら川のカモを見たり、ハトの集団を見たりし、目指す公園に到着です。

子どもたちは、まず保育士が安全点検をしている間、公園での注意事項を聞いた後、遊び始めます。しばらく自由に好きな遊具や縄跳び、サッカー、鬼ごっこ等で遊ぶ中、保育士と一緒にゴミ拾いをする子もいます。最後はみんなで鉄棒をやりました。

給食では、当番は、エプロン・三角巾を付け、配膳の手伝いをします。3歳児から配膳が始まり、席に付いた子から食べ始めます。次に4歳児・5歳児の順で、子ども自身が自分の食べられる量のご飯やおかずをよそいます。準備のできた子から食べ始めますが、食事は3・4・5歳児が同じテーブルでおしゃべりしながら楽しく食べます。食事が済むと「ごちそうさま」をし、食器を前のテーブルに運び、それぞれの食器の上に重ねて置きます。

食事の始まる頃に栄養士が、子どもたちに今日の食材についてゲーム形式で話し始め、子どもたちは慣れている様子で答えていました。

食事が終わると、歯磨きをして昼寝になります。

まとめ

子どもたちは、散歩が大好きのようにうれしそうに出かけて行きます。保育士は、道路を歩くときや交差点を渡るときにも、子どもの様子を見ながら危険がないように気を配っています。保育士は、公園に着くと危険なものがないかどうか見てまわり、ゴミを拾い、滑り台等の遊具の点検をして、それから遊びが始まります。乳児の場合は目を離さないように、いつも誰かがそばにいて見守っていますし、幼児には遊びの約束事を確認させてから遊びが始まります。保育士はいつでも子どもたちを見守り、時には一緒に遊びの中に入って、子どもの遊びが発展するように援助しています。

3・4・5歳児のリズム遊びでは、どの子ども身体をのびのびと使って、思いっきり楽しんでいる様子がうかがえました。0・1・2歳児が見学に来て、身動きするのも忘れて見入っている様子も印象的でした。

事業者コメント

にじいる保育園はまだ開園2年に満たない保育園です。開園から駆け足のように過ぎてきた日々でしたが、今回の第三者評価受審にあたり、はたしてどのような事が評価されるのだろうか、正直不安な部分もありました。しかし、これからの時代に望まれる保育園づくりをするためには、今だからこそ受審する意味があると思いました。

マニュアルの見直し、保育内容の反省・見直し・検討を行い何度も会議を重ねるうち、保育士、看護師、栄養士、調理師の連携が深まり、職員全体の意識向上へと繋がりました。また外部研修、園内研修に力を入れ、保育の質の向上を意識しながらスキルアップに努力しました。

また日頃から温かくご理解をしてくださるにじいる保育園の保護者の方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。アンケートにもご協力をいただきましてありがとうございました。評価結果は、私たちにとりましてもこれからの保育の励みになるものとなりましたが、この結果に甘えることなく気を引き締めて維持していこうと思います。

にじいる保育園の子どもたちと保護者一人ひとりを大切に「安心・信頼・共感」できる環境の中で、いっばいの笑顔とキラキラ輝く目をした生活を送れることを保障していきたいと思います。そして卒園後、やがて大きく羽ばたいていく子どもたちに「生きる力」の土台を身につけてもらうよう保育をしていきます。

最後に評価機関である「市民セクターよこはま」の調査員の皆様。厳しくそして公平に評価していただき本当にありがとうございました。今回の第三者評価の受審は将来のにじいる保育園、そして(株)サクセスアカデミーの保育運営にも活かし役立たせていただきます。

株式会社サクセスアカデミー
にじいる保育園サクセス金沢文庫
園長 天野 公子

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.rakuraku.or.jp/hyouka/>

特定非営利活動法人



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 評価事業部

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 26 番地 洋服会館 2 階

TEL:045-222-6501

FAX:045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>
